## 署名のお願い

# 国の名勝・史跡に指定された小石川植物園(御薬園跡及び養生所跡)の土地1200平方メートルが道路に? 300年の歴史遺産が大幅に削られる危機!

現在、東京大学が所有する小石川植物園の周辺道路整備計画の工事を、文京区と東京大学が進めています。 その計画の中身を知って、私たちはビックリしました。最大2.9メートルの幅で、約1200平方メートルの植物園敷地を東大から提供させて、車道・歩道の拡幅に使う、というものだったからです。

#### 最初は「20センチほど」

この計画の動きに不安を感じた区民が平成 20 年8月に区の都市計画課に状況を尋ねに行きました。その際の担当者の回答は、「道路幅を揃える形で植物園の面積を減らさないようにするが、場所によっては 20 センチぐらい植物園を削る」というものでした。しかし、いつのまにか、御殿坂(下に示す古地図右側の道路)は最大 2.9 メートル、正門側の道路(同地図下方)は最大 2 メートル拡幅する計画に変更されてしまい、塀の建て替えを条件に、約 1200 平方メートルもの植物園の土地を区道として永久無償貸与させる協定を、東大総長濱田純一氏と文京区長成澤廣修氏は平成 21 年 12 月 22 日に水面下で締結していました。 文京区は平成 23 年度に御殿坂の通りの工事に着手し、すでに植物園がざっくりと削られてしまいました。 道路の拡幅幅よりもはるかに大きな面積の敷地内の植物が、工事のための車両・重機のせいで失われてしまいました。移植した樹木も 3分の 1 が枯れてしまいました。

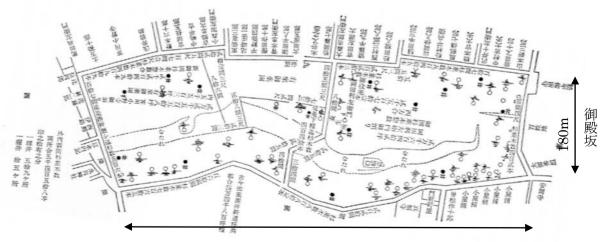
#### みんなで声をあげよう

小石川植物園は、江戸時代中期以来、形状を保ったまま今に至ってきました。区民にとっても国民にとっても、大切な歴史的・文化的遺産でもあり、植物学(本草学)上、世界的にも貴重な施設でもあります。利用者の少ない道路の拡幅のために、貴重な遺産の広い面積が失われてしまうことに疑問を感じずにはいられません。周囲の建築の条件が変わるため、高い建物が建ち並び、植物園の植生に悪影響を与える事態も懸念されます。

文京区では、正門側道路に接する植物園の敷地を710メートルにわたって削る工事をすぐにも始めようとしています。 平成24年9月19日に、小石川植物園は「国の名勝及び史跡」に指定されました。それを受けて、東大は工事に先立って植物園の植生調査を行いましたが、形式だけのきわめておざなりなものにすぎず、工事の計画は見直されていません。

すでに工事が終わった御殿坂内側では従来の林床植物が滅ぼされ、荒地に生息する植物が繁茂して植生に悪影響が出ています。正門側の塀際には長いあいだ塀に守られ、在来の植生がベルト状に広がっています。塀際を削りとって薄くしてしまうと、手つかずで残ってきた園内の武蔵野の原植生や生態系の聖域も被害を受ける危険性があります。

みなさん、「おかしいぞ」と声をあげてください。まずは署名にご協力ください。たくさんの署名が事態を動かす力になります。 (↓植物園の古地図 1722 年)



正門側(西側) 道路 710 m

「小石川植物園を守る会」ホームページURL: http://koisikawa-mamoru-kai.la.coocan.jp/ 問い合わせ先;稲葉信子 090-5782-0345 メール: n.inaba2@f5.dion.ne.jp

201 年 月 日

### 文京区 区長 成澤 廣修 殿 東京大学総長 濱田 純一 殿

私たちは、以下のことを要望します。

- 1 文京区の小石川植物園周辺道路基本計画(案)による、小石川 植物園脇の区道の拡充工事を、準備作業も含めてすぐに停止して いただきたい。
- 2 小石川植物園の周辺道路(区道)の拡幅のために、小石川植物園の敷地を大幅に削る事業計画を見直して、植物園の敷地をできるだけ削らないものに変更してください。
- 3 この計画に関して、文京区、東京大学、小石川植物園、東京都、 及び一般区民(近隣及び区内在住者等)の5者で協議する場を、急い で設けてください。
- 4 この計画の可否について、文京区のコミュニティゾーン整備協議会であらためて議論をしてください。

氏 名	住 所

#### たくさんのかけがえのない植物が消失・損傷してしまいます

計画は5年計画で、1年目の 2011 年度には、御殿坂の仮舗装と塀工事が行われました。しかし、植生への影響調査も行なっていないため、御殿坂の敷地は必要以上に大幅に削りとられてしまい、塀際にあったたくさんの希少な植生が喪失したり損傷を受けました。御殿坂のオドリコソウの群落や、絶滅危惧 II 類(VU)のヒロハノアマナは全滅し、その他多くの植物が被害にあいました。この計画で樹木は70本以上伐採されてしまいました。中には日本に和名のないような珍しい樹木もありました。

第5次集約:2015年1月末です。それ以後も集めます。

集まった署名用紙は、次の集約先にお送り下さいますようお願い申し上げます。

〒112-0001 文京区白山 4-10-15 稲葉信子

問い合わせ先;電話 090-5782-0345 メール n.inaba2@f5.dion.ne.jp

(実施団体連絡先等)